

国立大学法人鹿児島大学広報センター

〒890-8580 鹿児島市郡元 1-21-24

電話 099-285-7035 FAX 099-285-3854

E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

NEWS RELEASE (2025 年 6 月 2 日) **取材依頼**

高齢者成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する新たな標準治療の確立 鹿児島大学をはじめとする国内多機関共同臨床試験

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

この度、本学、名古屋市立大学、九州がんセンターを中心に行われた「未治療 CCR4 陽性高齢者 ATL に対するモガムリズマブ併用 CHOP-14 の第Ⅱ相試験」(国内多機関共同臨床試験)の主たる解析論文が 2025 年 5 月 15 日付で国際的な医学誌『Blood』に掲載されました。

下記のとおり記者発表を開催しますので、ご案内いたします。

なお、記者発表にご出席いただく場合は、お手数ですが、6 月 5 日(木) 17 時までに、鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係まで、お申し込みのご連絡をお願いします。

【概要】

成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL)は、ヒト T 細胞白血病ウイルス(HTLV-1)感染者の 3~5% に発症する極めて予後不良な造血器腫瘍です。

高齢者 ATL に対する標準治療の確立を目指して実施した世界初の臨床試験において、主要評価項目を達成し、有望な治療成績が得られたことを記者発表いたします。

【経緯等】

ATL は HTLV-1 により引き起こされる極めて予後不良な疾患です。日本は HTLV-1 の世界的な侵淫国であり、中でも鹿児島をはじめとする西南日本は感染者が特に多い地域です。

若年(65~70 歳以下)の患者さんに対しては、同種造血幹細胞移植(以下、同種移植)が実施され、治癒が期待できる標準治療として確立されてきました。しかし、国内における ATL 患者の高齢化が進む中、同種移植の適応とならない高齢者 ATL に対する標準治療の開発は、喫緊の課題となっていました。

本研究では同種移植の適応とならない高齢者 ATL 患者さんを対象に、モガムリズマブ併用 CHOP-14 療法(Moga-CHOP-14 療法)の有用性を検証する第Ⅱ相試験を、国内 21 施設で実施しました。その結果、以下の重要な知見が得られました。本研究の成果は、国際的な医学誌『Blood』に 2025 年 5 月 15 日にプレリリースされています(Blood. 2025 May 15;blood.2024027902. doi: 10.1182/blood.2024027902.)。

1. Moga-CHOP 療法（Moga-CHOP-14/21）は、高齢者を対象としたにもかかわらず、過去に若年者を対象に実施された CHOP-14 療法を上回る治療成績が得られました。同種移植の適応とならない場合において、CHOP 療法にモガムリズマブを併用することの有用性が明らかにされたこととなります。
2. 主な有害事象としては、血球減少、感染、皮疹などが認められました。
3. モガムリズマブ関連皮疹の出現および CCR4 遺伝子変異の存在が、Moga-CHOP 療法による生存期間の延長と有意に関連していることが明らかになりました。

	JCOG9801 試験*	本試験
試験治療	CHOP-14	Moga-CHOP-14/21
患者数	61	48
年齢（中央値、最小-最大）	58 (22-69)	74 (67-86)
1 年無増悪生存割合 (%)	16	36.2 (90%信頼区間, 24.9-47.6)
完全奏効 割合 (%)	25 (95%信頼区間 14.5-37.3)	64.6 (95%信頼区間 49.5-77.8)
全奏効割合 (%)	66 (95%信頼区間, 52.3-77.3)	91.7 (95%信頼区間, 80.0-97.7)
1 年生存割合 (%)	データなし	66.0 (95%信頼区間, 50.6-77.6)
生存期間中央値 (年)	0.92	1.6 (95%信頼区間, 1.1-2.8)
治療完遂割合 (%)	49	47.9

*Tsukasaki K, et al. J Clin Oncol. 2007;25:5458-64.

モガムリズマブ：本邦で開発された抗 CCR4 抗体薬。ほとんどの患者さんの ATL 細胞が CCR4 を発現している。

CHOP-14：非ホジキンリンパ腫に対する治療法の一つであり、4 つの薬剤を 14 日間隔で投与する。

Moga-CHOP-14/21：モガムリズマブ併用 CHOP 療法を 14 日間隔で実施できた患者さんは 20 人、残り 28 人は 21 日間隔で開始（22 人）、途中で 21 日間隔に変更（5 人）、もしくは 1 サイクルで終了（1 人）した方を含む。

記

【記者発表】

1. 日時：2025 年 6 月 6 日（金） 13:00 から
2. 場所：鹿児島大学病院 A 棟 6 階 第一会議室
（住所）鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号
3. 出席予定者：
 - ①鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科・研究科長 田川 義晃 教授
 - ②鹿児島大学病院・病院長 石塚 賢治 教授（研究代表者）
 - ③名古屋市立大学（現 愛知県がんセンター）楠本 茂 部長（研究事務局）
 - ④九州がんセンター 崔 日承 医長（研究事務局）
 - ⑤鹿児島大学病院 吉満 誠

【問い合わせ先】

（研究内容に関すること） 石塚 賢治 教授 （研究代表者）
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
TEL:099－275－5111（代表）

（報道・広報に関すること） 鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係 後迫
TEL:099－275－6692
E-mail kufsyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp
